

様式第3号 (第9条関係)

会 議 録

会 議 名	令和3年度第1回嵐山町男女共同参画審議会					
開 催 日 時	令和3年7月2日 (金)				13時30分	
					15時30分	
開 催 場 所	嵐山町役場 204・205会議室					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 第3次嵐山町男女共同参画プラン (令和2年度) 検証について (2) 今後のスケジュール (案) について (3) 第4次嵐山町男女共同参画プラン策定方針について (4) アンケート (案) について (5) その他 4 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0人	
委員出欠状況	会 長	寺山サキ子	出席	委 員	中静 晴美	出席
	会長代理	宮本 紀子	出席	委 員	番場 順子	出席
	委 員	藤野 哲男	出席	委 員	須永 圭一	出席
	委 員	松本 洋治	出席	委 員		
	委 員	引間 紀江	出席	委 員		
	委 員	吉野 孝規	出席	委 員		
	委 員	日下部敦子	出席	委 員		
その他出席者						
事 務 局	馬橋課長			青木副課長		
	山口主査					

次 第	顛末（要点筆記）
1 開 会	地域支援課馬橋課長
2 あいさつ	寺山会長よりあいさつ
3 議 題 (1) 第3次嵐山町男女共同参画プラン(令和2年度)検証について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青木副課長より審議会規則に基づき、会長が議長となる旨の説明を行う。</li> <li>・事務局より、第3次男女共同参画プランについて令和2年度の数值結果及び主な取組み状況について説明した。</li> </ul> <p>(須永委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でDVなどの相談は増加しているか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とくにコロナ禍で状況が悪化したことにより、相談件数は増えていないようです。</li> </ul> <p>(番場委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種審議会等における女性委員の割合が伸び悩んでいるとのことだが、何か要因はあるのか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度においては会議が開催できない状況により、委員の委嘱ができなかったケースや審議会によっては、あて職の方も多くみられます。ただ、町全体的に積極的に女性委員の登用を推進できていないのも確かです。目標達成に向けて、現在、総務課を通じて各課局へ積極的な登用を依頼しています。</li> </ul> <p>(中静委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での災害対応はどうなっているのか。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営マニュアルの見直しはこれまで行ってきましたが、今年度、地域防災計画の改訂を予定しています。男女共同参画の視点を踏まえた計画づくりに努めたいと思います。</li> </ul> <p>(中静委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会も計画策定にも携わり、有事の際には町と協力し支援体制をしっかりと取っていきたい。</li> </ul> <p>(寺山会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画の視点を災害対応に取り入れるには、防災組織の中に女性を登用するのが良いと思うが、各地域においては男性中心の区役員を中心とした組織が多い。区の役員以外の女性でも携われるような体制づくりができると良いと思う。</li> </ul> <p>(日下部委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民・企業向けの人権研修会は開催できなかったとのことだが、コロナ禍は今後もすぐ終息することは難しいと思う。例えば、検診などコロナ禍でもやっている事業の中で、パンフレットの配布などの啓発活動をして良いのではないか。また、今後、コロナ禍で研修会を開催する上でWEB開催や感染対策などのガイドラインは検討されているか。さらに、町の施設の利用方法についても一定のルールなどはあるか。</li> </ul>

(事務局)

- ・既存の事業における啓発活動については検討したいと思います。また、現在、コロナの感染状況や国・県などの対応に準じて、会議や研修等の開催を決定していますが、WEB開催は現状では難しいが検討していきます。今後は町主催のイベントや施設の利用方法などに一定のルールづくりも必要になるかと思っています。

(吉野委員)

- ・現在、県内の商工会では女性事務局長が1名のみで男女共同参画が推進されているとは言えない状況である。町の女性の管理職比率が増加したとのことだが、引き続き増加することを期待したい。

(引間委員)

- ・コロナ禍の令和2年度の数値結果や取組み内容については、前年度と比較することは難しいと思う。その中でも何か実施できた取組みなどはあるか。

(事務局)

- ・令和2年度はコロナの感染拡大の影響により、町ではイベントや会議等の中止や延期が余儀なくされました。そんな中で、ひとり親世帯への給付金や新生児給付金など町独自のコロナ対策の取組みが実施され、子育て世帯への支援を行いました。また、職員もこれまで参加することが難しかった研修もWEB会議となるなど、コロナ禍で働き方に変化がみられました。

(松本委員)

- ・今回、待機児童数がゼロになったことは良い傾向である。また、町内には外国人の方も増えているので、引き続きサポートが必要だと思う。さらに男女共同参画を推進するためには意識改革のための広報活動が重要だと思う。

(事務局)

- ・外国人の増加は、工業団地等の外国人従業員の増加によるものかと思われます。住宅支援など企業側のサポートが主ではありますが、町でも何かサポートできることがあれば検討したいと思います。

(藤野委員)

- ・待機児童数がゼロとなったのは、何か特別な対策があったのか。

(事務局)

- ・待機児童への取組みについては、対象者が減少していることもありますが、数年前に小規模保育所が開設したり、民間企業の保育所が従業員以外の受入れをしてくれているのは待機児童の解消につながっていると思われます。

(宮本委員)

- ・これまで、各課局における取組みについて報告してもらったが、もっと町民に向けた具体的な働きかけが足りない気がする。

(2) 今後のスケジュール(案)について

- ・事務局より、今後の第4次嵐山町男女共同参画プランの策定に向けたスケジュール(案)について説明した。

(意見なし)

(3) 第4次嵐山町男女共同参画プラン策定方針について	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局より、第4次嵐山町男女共同参画プラン策定方針について説明した。 (意見なし)</li> </ul>
(4) アンケート(案)について	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局より、第4次嵐山町男女共同参画プラン策定にかかるアンケート(案)について説明した。なお、アンケート内に前回調査の数値目標になっている「DVの認知度」についての設問が抜けていたので、追加したい旨を説明した。また、前回の回答率が28.75%と低かったことから回答率を上げるためにどうしたら良いか検討してもらおうようお願いした。 (松本委員)</li> <li>町の人口規模で2,000人対象のアンケートはかなり対象者が多いのではないか。回答率が低いとのことだったが、なかなか回答しづらい内容であるし、3割弱あれば十分かと思う。 (事務局)</li> <li>一昨年度、総合振興計画のアンケートを実施したが、5割弱であった。WEB回答を可能にすることも考えたが、費用対効果を考えると厳しい。 (引間委員)</li> <li>他の市町村であるが、協力してくれる方へのノベルティとしてアンケート送付時にボールペンが入っていた。 (事務局)</li> <li>何か、ノベルティがあればと考えていたが、記入してもらうのにも利用でき、良いアイデアなので検討したいと思います。 (引間委員)</li> <li>アンケートについては無作為抽出で2,000人とあるが、回答者の年代や性別に偏りが生じないように抽出の際は構成比等に考慮したほうが良い。また、問5の(11)の設問だが、「名もなき家事」の具体的な事例をいくつか挙げてそれぞれ聞いてみたらどうか。 (事務局)</li> <li>アンケートの抽出については、回答結果が有効なものになるよう構成比については考慮して抽出する予定です。また、問5の(11)の設問については、今回新たに追加したものです。「名もなき家事」にあたる家事をそれぞれ設問に加えると、設問数が増えて回答者が答えづらくなると考え、具体例のみを示させてもらいました。枠外に「名もなき家事」の説明書きを入れて分かりやすくしたいと思います。 (宮本委員)</li> <li>問7の「理想はどうあるべきだ」という表現が強すぎる気がするがどうか。また、現実を回答するのにあてはまらない方もいるので一般的な女性の働き方について聞いてはどうか。 (事務局)</li> <li>前回調査では一般的な女性の働き方についての設問でしたが、より一歩踏み込んで理想と現実という設問にしました。学生など現実にあてはまらない方もいると思うが、この設問では、実際にあてはまる方の理想と</li> </ul>

現実の比較をしたいと考えています。

(須永委員)

- ・もし、「理想はどうあるべきだ」の表現を抑えたり、現実にあてはまらない方に配慮するのであれば、「次のどれにあてはまりますか、あてはまらない方は5年後、10年後を想像して回答してください」など入れてはどうか。

(日下部委員)

- ・設問の説明が長いと回答しにくいので、【理想】と【現実】の脇にあてはまらない方への説明を示したらどうか。

(番場委員)

- ・実際に、あてはまらない方もいると思うが、【理想】はイメージできると思うし、【現実】という設問もそのままでもいいのではないか。

(事務局)

- ・問7の「理想はどうあるべきだ」の表現はもう少し柔らかい聞き方に修正します。あてはまらない方への案内については検討します。

(宮本委員)

- ・回答者の性別について「それ以外」という表現に違和感がある。

(事務局)

- ・女性でも男性でもないLGBTQの方に配慮した選択肢です。

(引間委員)

- ・とくに決まりはないが、国勢調査では設問の案内に「あなたが思うものに○」となっていたので同じにしてはどうか。

(事務局)

- ・そのように変更させていただきます。

(中静委員)

- ・DVに関しての設問は「配偶者等に対する暴力」とあるが、家庭内の暴力には子どもや高齢者を対象にしたものも多いがここでは含まれるか。

(事務局)

- ・確かに、子どもや高齢者への暴力も多くみられます。ただ、範囲を広げると設問数も増え、分かりづらくなってしまいますので、配偶者やパートナーからの暴力に限定しています。

(事務局)

- ・設問の数は前回とほぼ同じですが、例えば問4などの設問は必要ですか。また、全体的に他に何かありますか。

(須永委員)

- ・問5は設問が2ページにわたってしまい見づらいので、レイアウトを整えたほうが良い。

(事務局)



- ・レイアウトの体裁は、他に追加する事項などを含めて見やすいように整えたいと思います。

(宮本委員)

- ・問4の「メディアでの性」は問題視されているものも多いので、削除はしないほうが良いのではないか。

(寺山会長)

- ・今後、アンケートについては事務局で修正し、会長、会長代理及び引間委員で調整したい旨の説明をし、了承された。

(5)その他	(事務局) ・会議録の署名委員については、引間委員と吉野委員にお願いしたい旨を説明し、了承された。
4 閉 会	宮本会長代理
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和 3 年 7 月 14 日 署名委員 <u>引間 紀江</u> </p> <p>令和 3 年 7 月 14 日 署名委員 <u>吉野 孝規</u> </p>	